

アップコンの健康経営

社員の健康こそ、成長への投資

アップコン株式会社
代表取締役社長 松藤 展和



UPCON

01

会社紹介

02

なぜ健康経営を始めたのか

03

健康経営の取り組み内容

04

成果

05

経営視点からみたメリット・注意点

06

今後の展望



代表取締役社長
マツドウ ノブカズ
松藤 展和

プロフィール

日本で初めてウレタン樹脂を使用して 沈下修正を行った第一人者

1958年生まれ、福岡県出身

1989年1月 トライビス・パートナーズ建築事務所
(オーストラリア法人)入社日本担当部長

1998年2月 アーキプロ建築設計事務所
(オーストラリア法人)設立代表取締役社長

2003年6月 当社設立 代表取締役社長(現任)

**2021年12月「健康マスター・オブ・ザ・イヤー2021」
職域部門大賞受賞**

2023年 日刊工業新聞社による優れた中堅・中小企業経営者を表
彰する「第40回優秀経営者顕彰」にて優秀経営者賞受賞

健康マスター・普及認定講師(日本健康マスター協会)
各種メディアで紹介され、社内外で講師として講演も行う



企業名	アップコン株式会社
本社所在地	神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP東棟611
代表者	松藤 展和
設立	2003年6月
資本金	8,045万円
上場市場	名古屋証券取引所ネクスト市場
証券コード	5075
従業員数	48名(2025年8月現在)

事業概要

事業概要 土木工事業
■コンクリート床スラブ沈下修正工法【アップコン工法】
■ウレタン製土壤改良材【ナテルン】
■農業用水路トンネル機能回復加圧式ウレタン充填工法【FRT工法】
上記工法の施工・施工管理および販売
ウレタンを使った新技術の研究・開発

特許保有件数 国内12件 海外9件

アップコンはウレタン樹脂を使った施工、 および研究開発で事業展開しています。

当社は、工場・倉庫・店舗(商業施設)や、一般の住宅などの建物において、地盤の不同沈下を原因として生じたコンクリート床の沈下・傾き・段差・空隙を完全ノンフロンのウレタン樹脂、および小型機械を用いた独自の「アップコン工法」によって修正する施工を主力事業として展開しております。

また、新たな事業展開推進のため、多数のプロジェクトを進行させ、硬質発泡ウレタン樹脂の新規応用分野への研究開発に取り組むことで、自ら市場を創りながら事業を開拓していくサイクルを目指す研究開発型企業を目指しています。

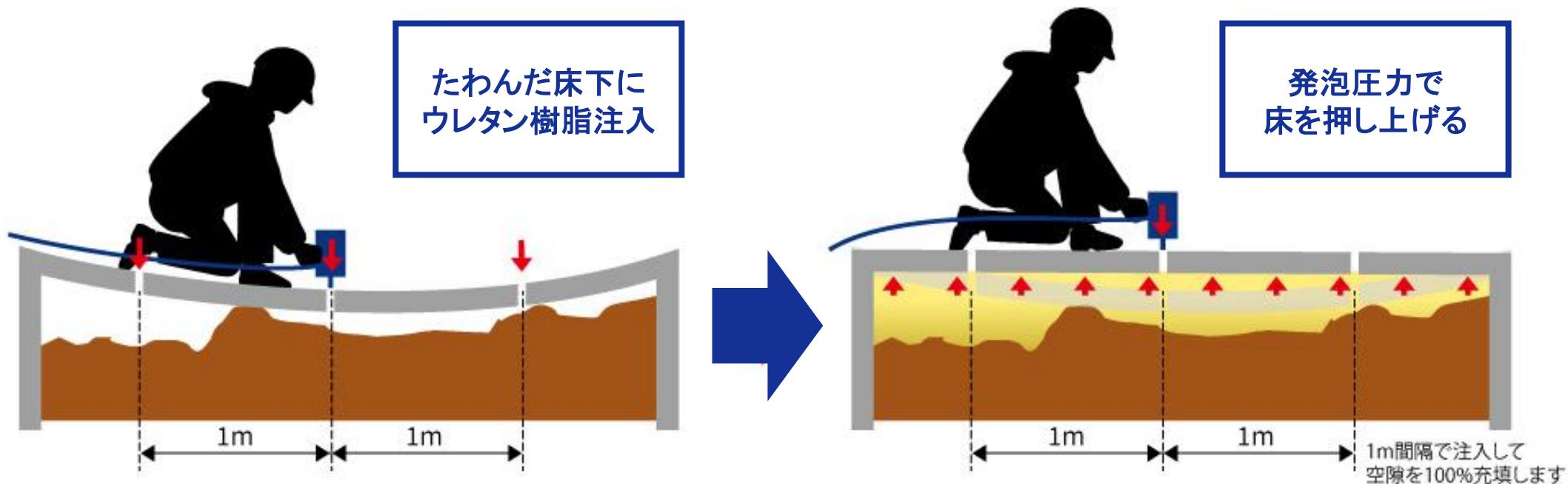


アップコン工法

【コンクリート床スラブ沈下修正工法】とは

沈下・段差・傾き・空隙などが生じた既設コンクリート床に、1m間隔で直径16mmの小さな穴を開け、ウレタン樹脂を注入します。ウレタン樹脂は、短時間で発泡し、その圧力でコンクリート床を床下から押し上げて傾きや段差などを修正します。

ウレタン樹脂の注入は、既設コンクリート床の高さを計測機器で常時ミリ単位で監視しながら行い、樹脂の最終強度は約60分で発現します。床下に空隙が発生している場合、同じ方法でウレタンを注入、ウレタン自らが発泡する特性によって、狭い隙間でも入り込み空隙を充填することができます。



01. 会社紹介 【沈下修正セグメント】

民間事業・公共事業のセグメントで沈下修正を行っております。



引越し不要、操業・業務を止めない工法。
工場・倉庫・店舗(商業施設)・住宅など、
日本全国および海外での沈下修正工事を行います。

**工場・倉庫・店舗(商業施設)・住宅・
事務所/海外施工等**



高速・一般道路、空港・港湾など日本全国の
沈下修正および空隙充填工事を行います。
農業用水路トンネルの維持・補修工事を行います。

**道路・農業用水路トンネル・空港・
港湾・学校・自衛隊施設等**

1.短工期



2.操業を止めない



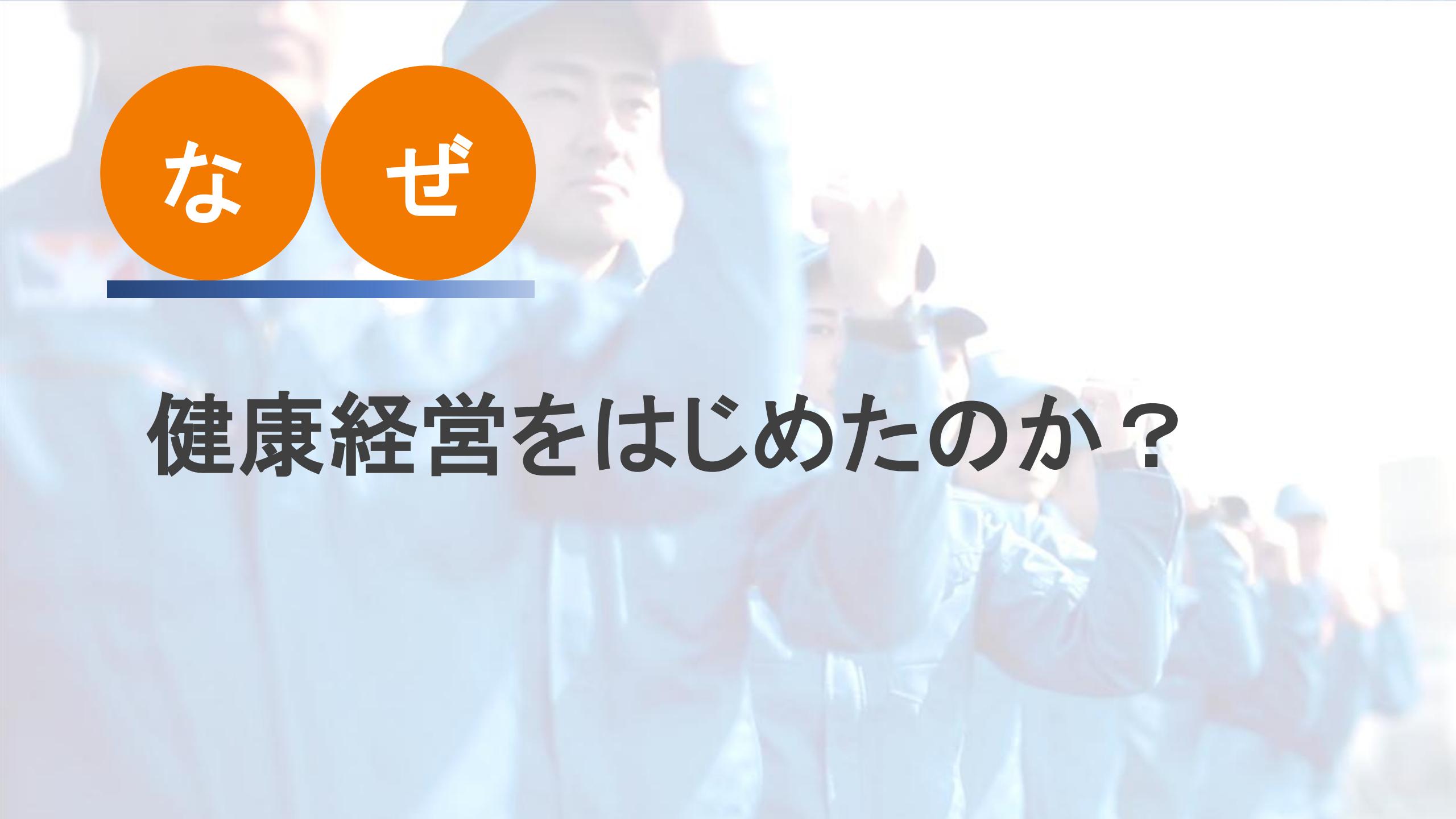
アップコン工法 特長



3.高い技術力



4.施工がコンパクト

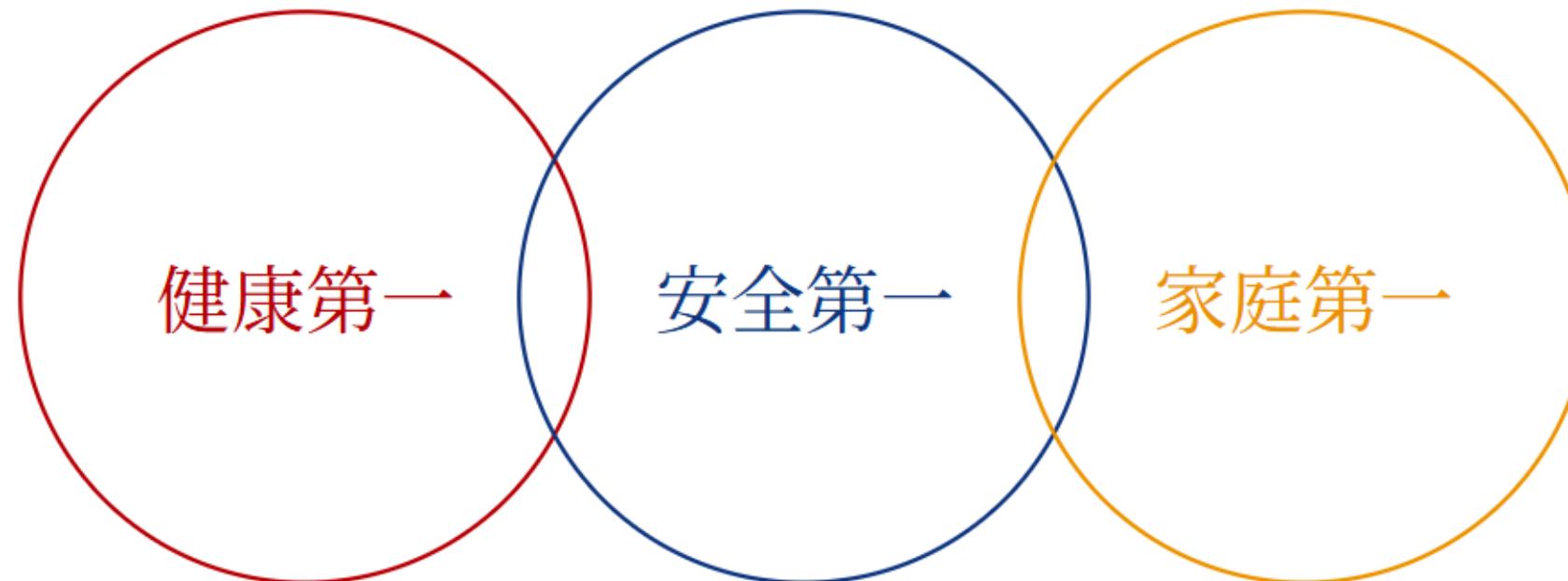


な

ぜ

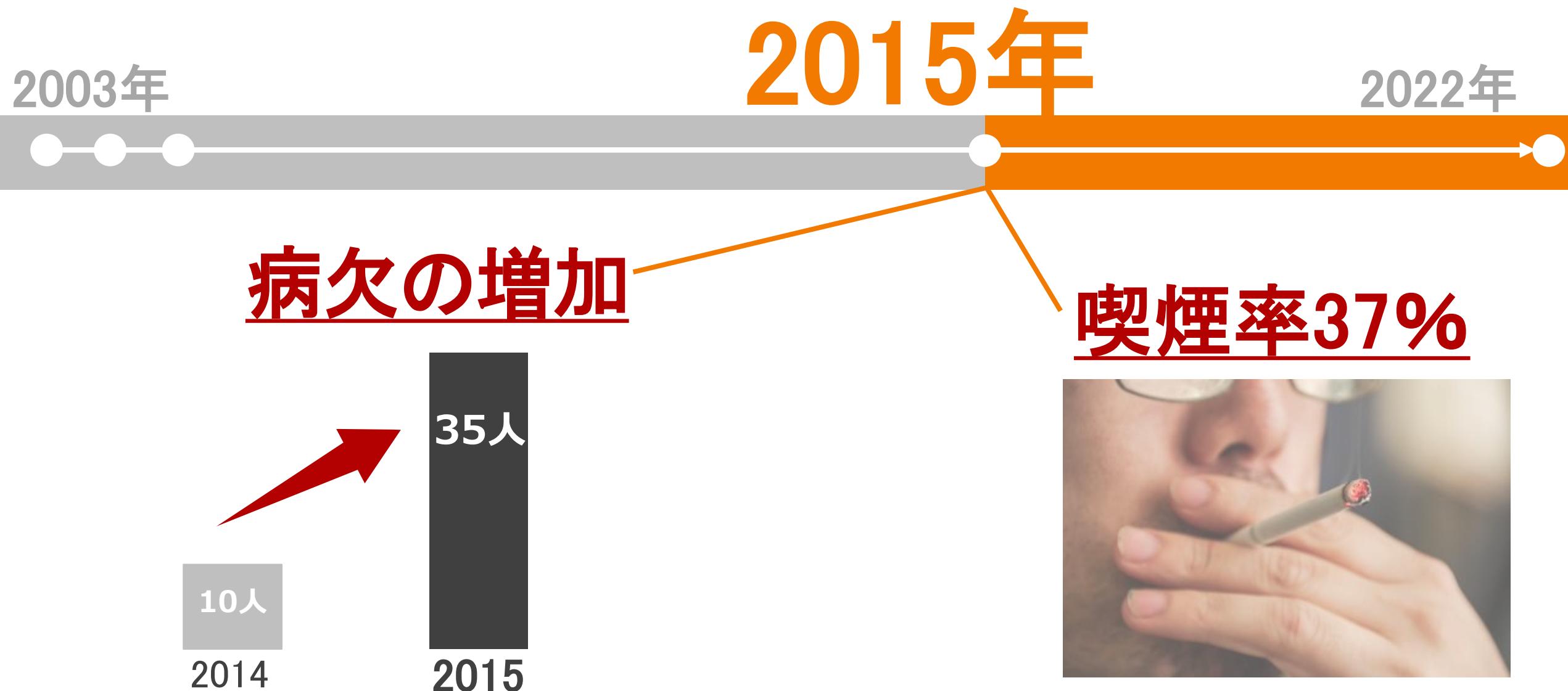
健康経営をはじめたのか？

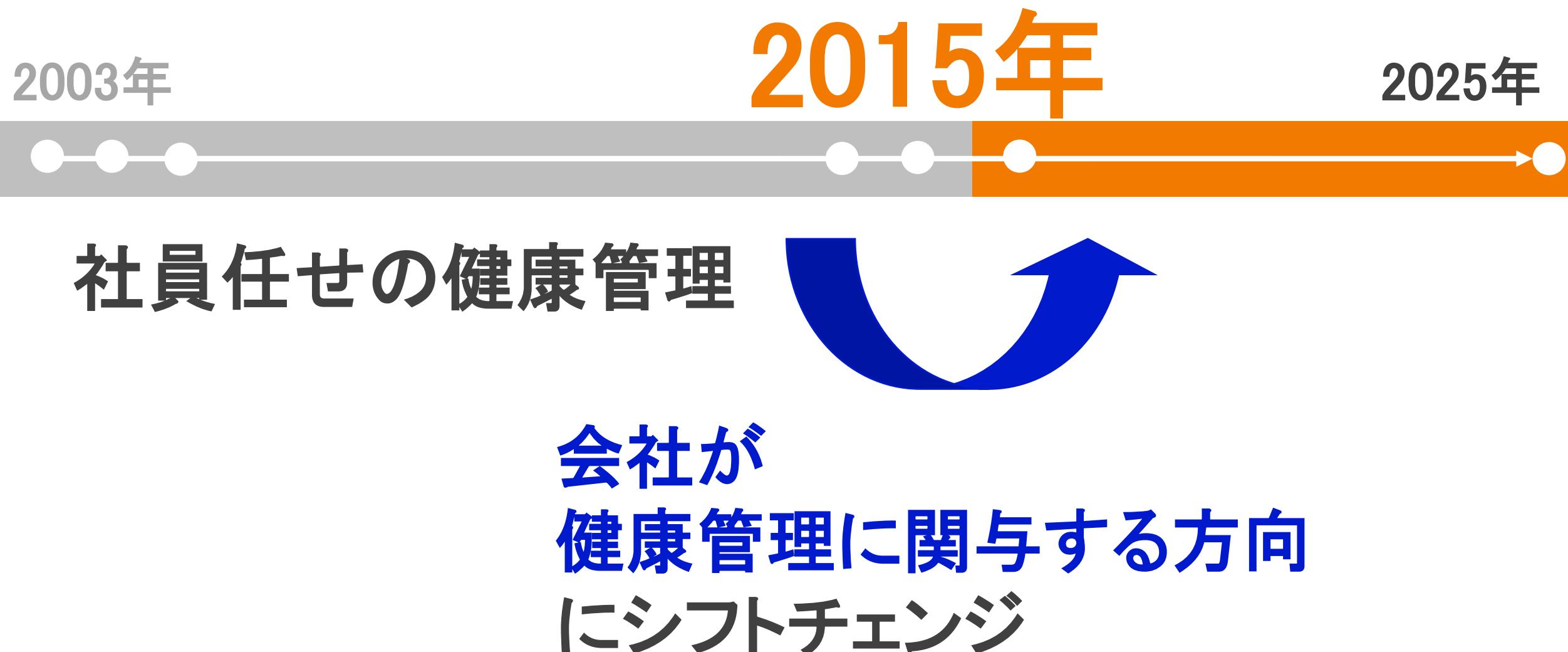
基本理念



施工会社であるため、
人員の確保が重要







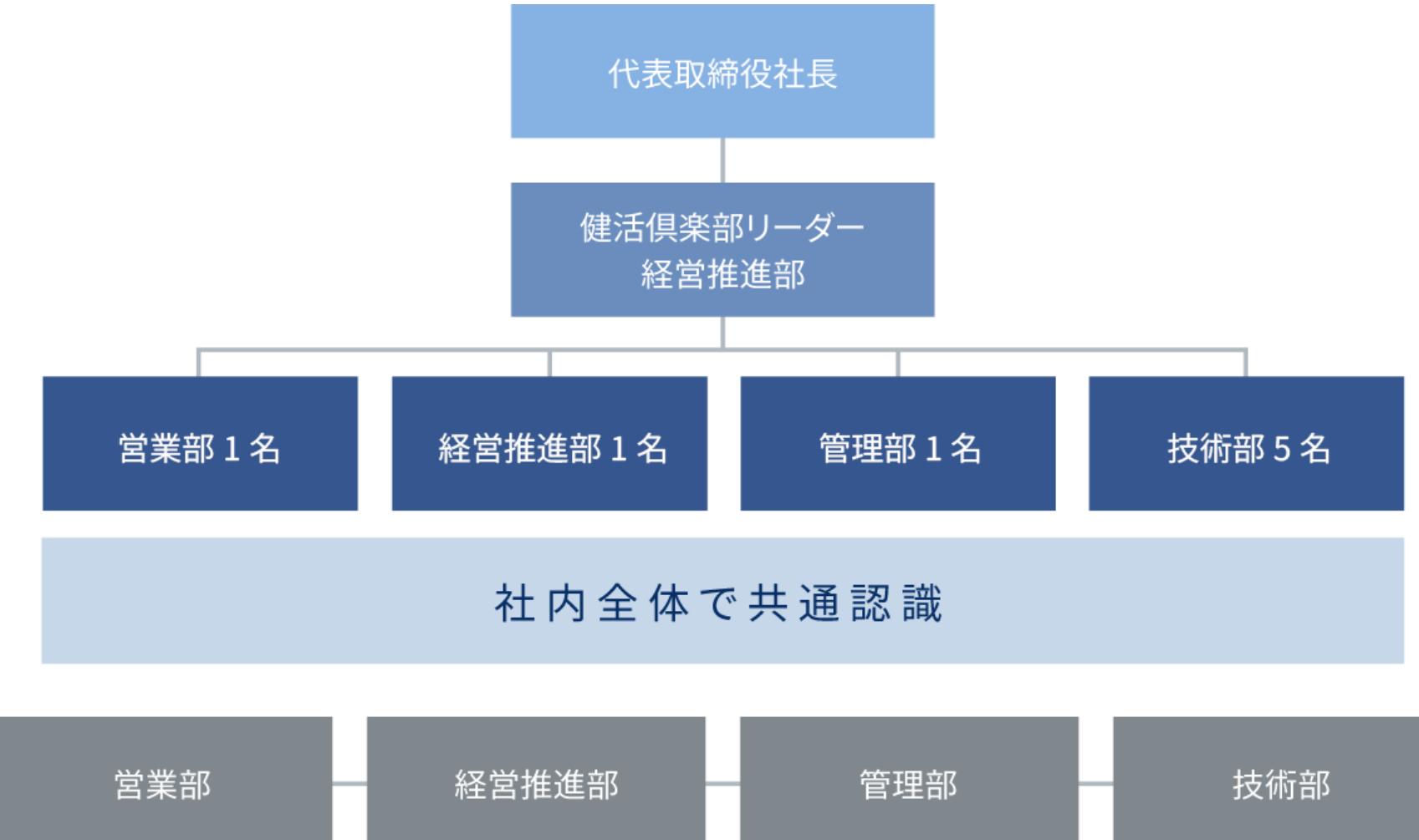
ど
の
よ
う
な

取り組みをしているのか？

- ① 健活倶楽部の発足と健康活動
- ② 非喫煙宣言
- ③ 働きやすい環境の整備
- ④ 健康マスター検定全社員認定取得推奨

社長直轄の組織

健康活動倶楽部 プロジェクトメンバーは9名
社内の部署を横断社員の心身の健康管理をリード！



※2025年8月現在

※ 通称：健活倶楽部（ケンカツクラブ）

2016年2月 健康活動倶楽部 を発足



健活倶楽部が中心となり、取組み内容を毎年更新



健活倶楽部の活動

健康活動のリードを取って推進

▶ 健康活動推進

健康情報の配信、健康活動の企画
(毎年更新・毎月実施)



▶ 健活ポイント制度の導入・ルール策定

健康に関する活動の実施に応じてポイントが付与

▶ メンタルケア

ストレスチェックの実施・大人の塗り絵・座禅体験等



▶ 全社非喫煙宣言を実施

禁煙に関する取組みを実施

03. 取り組み内容 ①健康活動倶楽部発足と健康活動



毎月1回健活レクは 就業時間内 に健活タイムを実施



ケンカツ

健活ポイント制度

健康活動を実施

ポイント付与

カタログギフト交換や地元の
社会福祉協議会、コアラ病院への寄付

楽しみながら健康活動に取り組んでもらうために導入
健康に関する活動の実施に応じてポイントが付与される制度



☑ 会社と駅の移動・通勤は歩き(片道)	5pt	☑ タバコを吸ってない人(日常的に)	1,000pt
☑ 家と駅の移動は自転車(片道、2.0km以上)	5pt	☑ やりたいレクのリクエストが採用	50pt
☑ 階段を1階から6階まで1往復	5pt	☑ 健活のレク参加	100pt
☑ ラジオ体操	10pt	☑ 健康診断結果に注意項目がない(年1回)	500pt
☑ プラス1運動	5pt		など

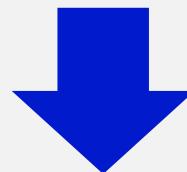
▶ 禁煙率向上のための取組み



全社員 **非喫煙宣言** (2016年2月)

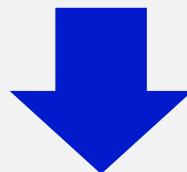
就業時間内での喫煙を禁止・就業時間外も禁煙を推奨

- ① 対象社員に対し喫煙本数のヒアリングを毎月実施



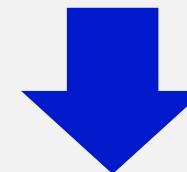
禁煙意欲を高める

- ② 喫煙者家族に手紙を送付



禁煙の協力を依頼

- ③ 禁煙の達成時には1万円分の健活ポイント支給



達成感と
モチベーションアップ

過重労働対策

① 毎月15日 残業時間合計の確認

- ・25時間を超えていないか確認



健康と安全のため、月45時間を超える残業と深夜残業をしない働き方を推進

② 予測25時間

- ・申請書の提出
- ・業務分担の見直し
- ・45時間を超えない工夫の検討



③ 45時間を超える場合

- ・専用の申請書を提出
Gリーダー→所属長・管理部

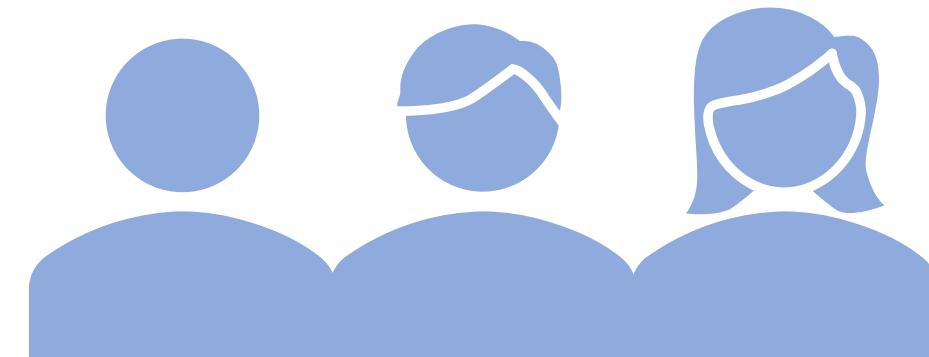


定年退職制度なし

年齢で区切らず経験を活かす

- ▶ 50歳以上の従業員は人間ドックを受診
- ▶ 金融リテラシー教育・ライフプランニングを実施

過去に80歳以上の方が営業として
勤務していた実績あり



健康マスター検定認定取得推奨

7割の社員が取得

36人
50人

※2025年8月現在(役員3人含む)



健康マスター検定とは 人生100年時代！ ウエルビーイング実現に向け、ヘルスリテラシー(健康リテラシー)を身につけることを目的とした検定。日本の平均寿命と健康寿命には、男性約9年、女性は約12年の差があり、健康全般を体系的にカバーして知識の向上をはかる検定です。
(参照:一般社団法人日本健康生活推進協会)

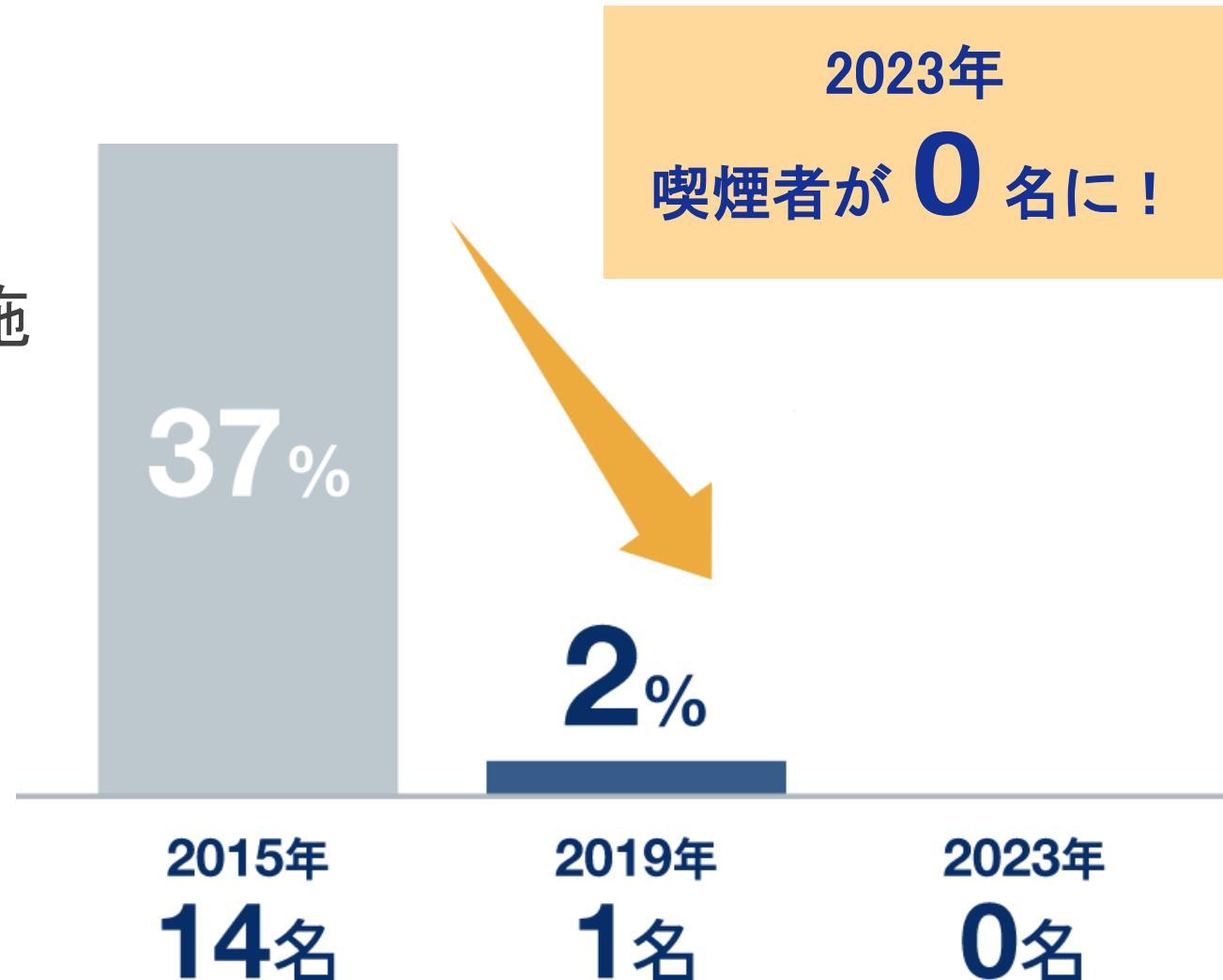


成
果
は
!?

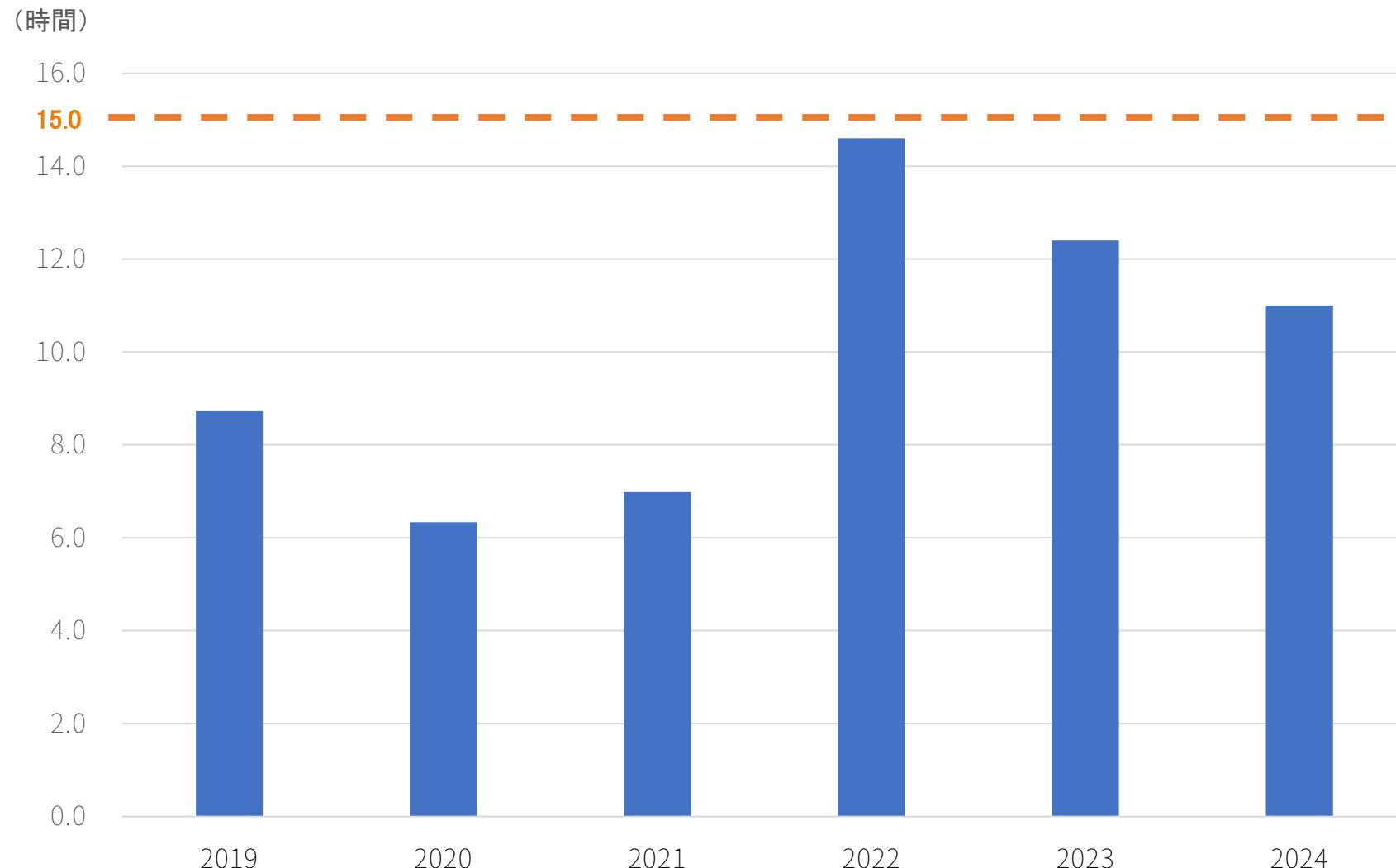
社員の喫煙率

2016年に全社員非喫煙宣言を実施
就業時間内の喫煙を禁止
就業時間外も禁煙を推奨

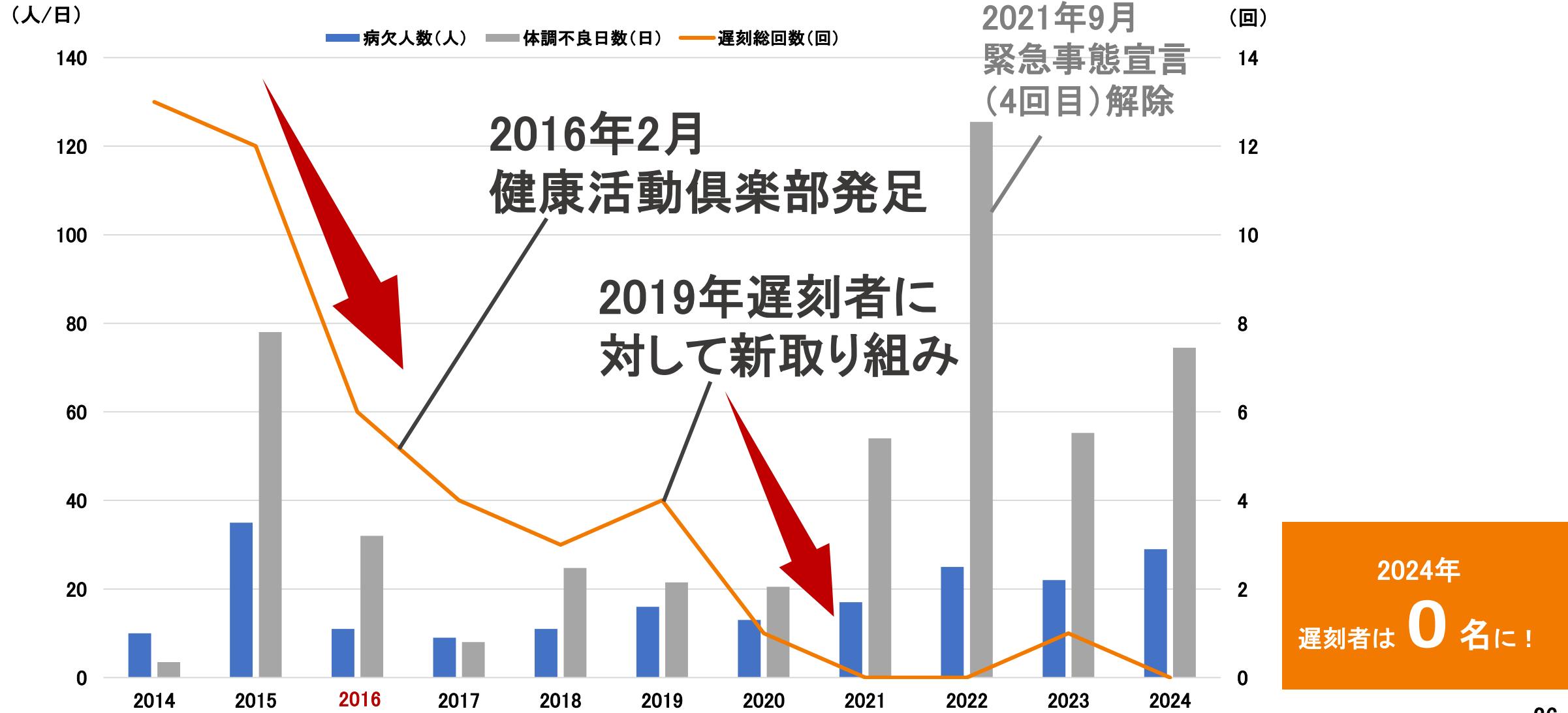
- 禁煙本数を毎月ヒアリング
- 喫煙者家族に手紙を送付



取組み以降、残業平均値は15時間を下回っている

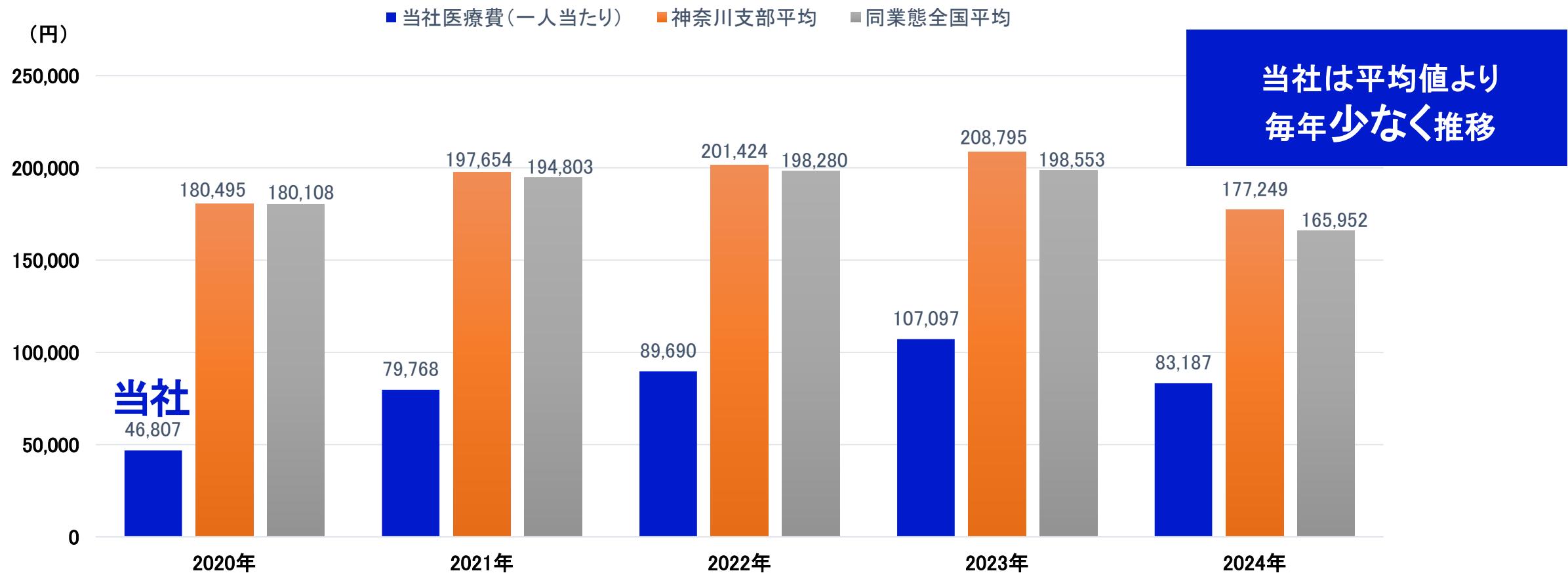


病欠延べ人数・病欠日数・遅刻回数を大幅に改善



平均値に比べ 医療費が少ない!

被保険者1人当たりの医療費



9年連続で「健康経営優良法人」に認定

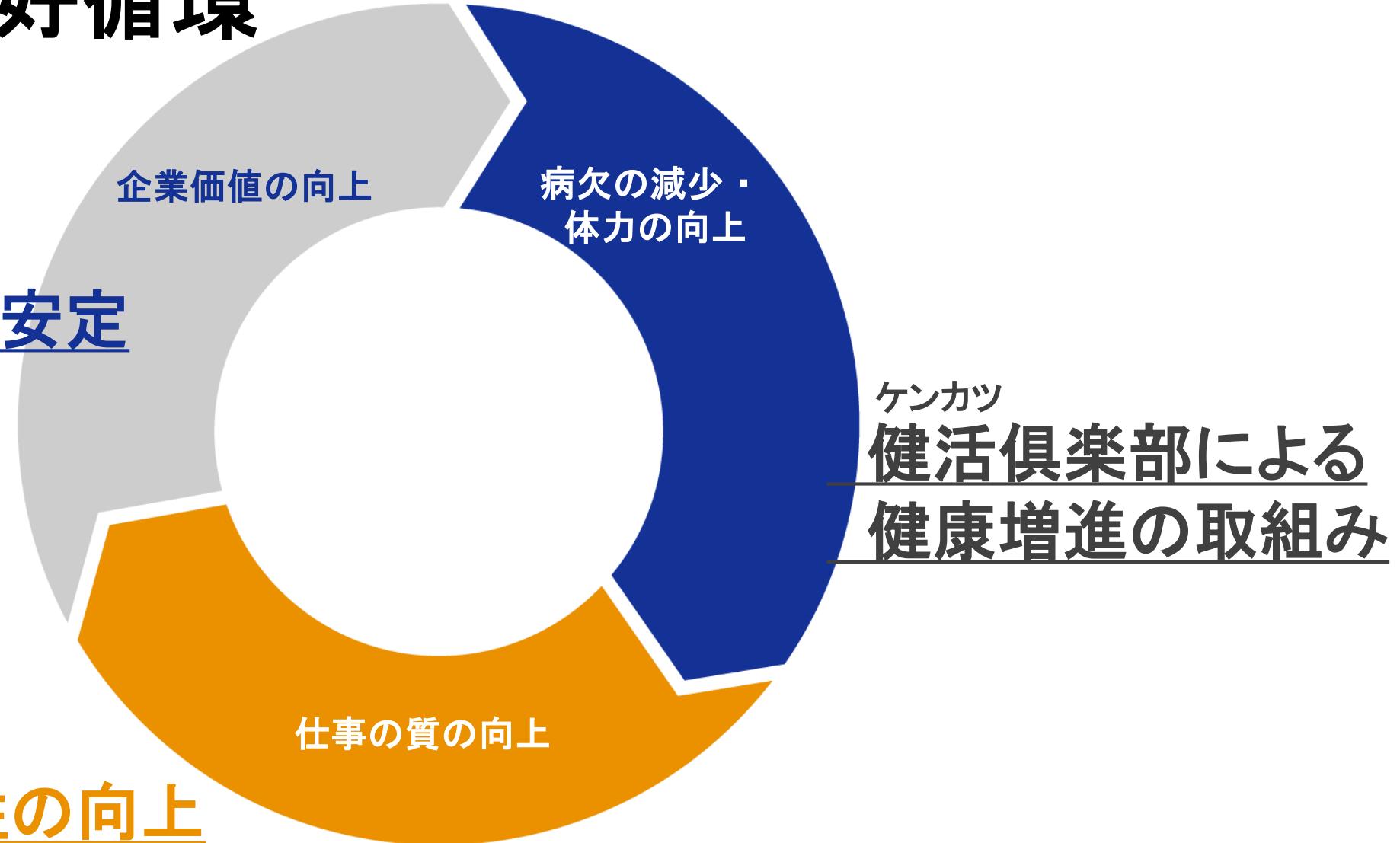
「ブライト500」認定スタート時から5年連続認定更新中



2023年～2025年認定

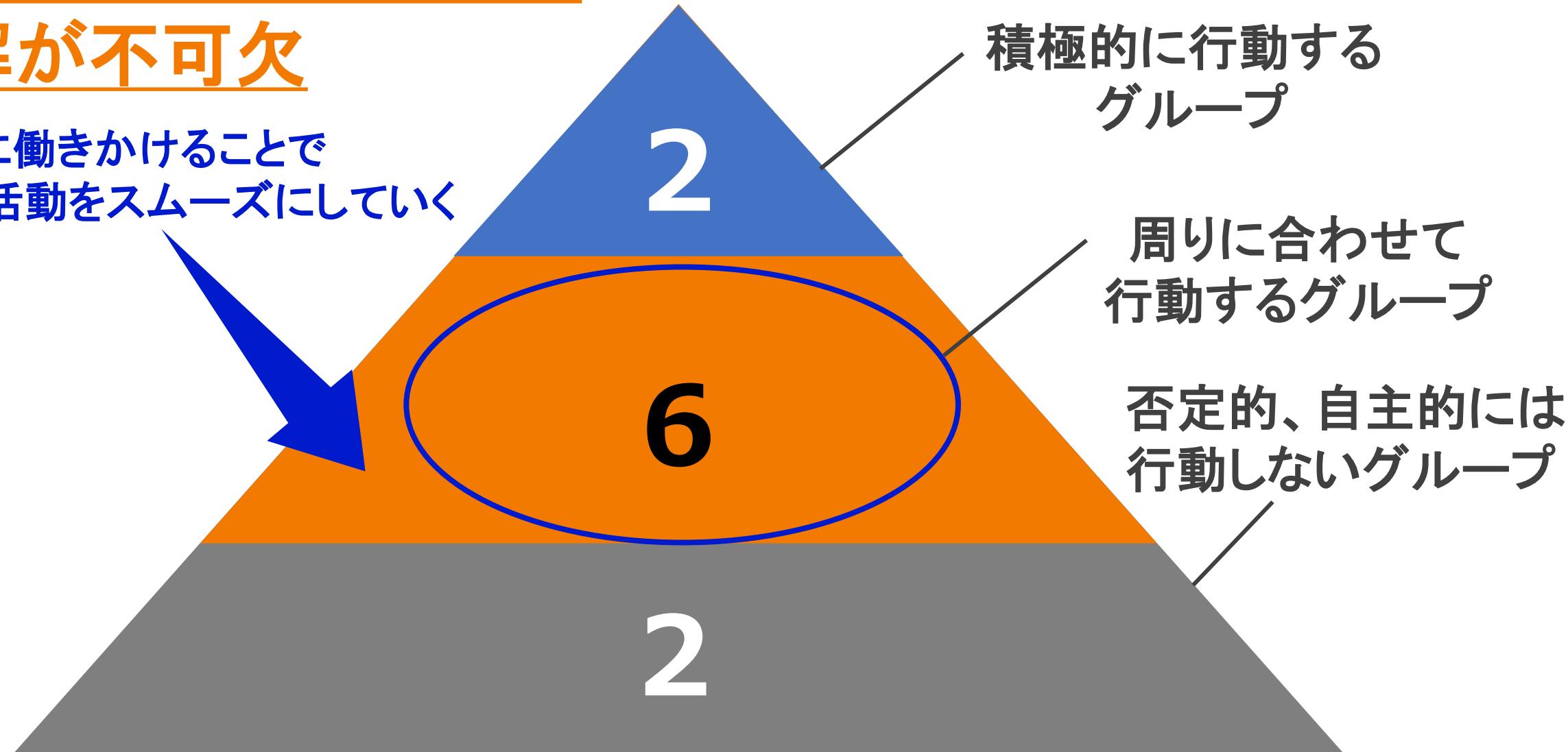
- ▶ 人材採用に関してのアピールポイントになった
- ▶ 人員の確保により生産性・効率性が向上
- ▶ 健康管理やメンタルヘルスに関する関心が高まった
- ▶ 評価項目をキーワードに社内で情報共有できた

健康経営の好循環



トップ/マネジメント層の理解が不可欠

この層に働きかけることで全体の活動をスムーズにしていく



社員の健康こそが、安定した経営と未来の成長の土台

社員の健康は
経営の安定化に直結！！

働きやすい
環境を
整える



アップコンは「ニッポン上げろ！」を合言葉に、
日本全国を足元から支え、
暮らしやすい社会に貢献していきます。



ご清聴ありがとうございました